

平成16年度兵庫県大学図書館協議会講演会～大学図書館の経営と評価を考える～

図書館活動の活性化を～ライブラリーマネジメント・ゼミナールの試み

2004.11.19(金)

国立女性教育会館客員研究員 尼川 洋子

0. はじめに

- 1) 大学図書館を出て見えてきたこと
 - ・ 図書館員はどう見られているか
 - ・ 利用者
 - ・ 図書館の地位
- 2) 小さなライブラリーの立ち上げと運営
 - ・ 運営戦略
 - ・ マネジメントの視点
 - ・ スタッフの育成

1. 図書館の活動を活性化するために

- 1) 書店から学ぶ
 - “舞台としての売り場” “役者としての書店員” “演出家としての店長”
 - 『劇場としての書店』福島聡著 新評論 2002
- 2) 自館の“資源”を認識する
- 3) 小さな図書館、館種の異なる図書館、他業種、NPO との交流・ネットワーク
- 4) 図書館員の意識変革、スキルアップ

2. 活性化へのアプローチとして～マネジメントの視点と方法

- 1) 図書館活動のマネジメントとは
 - ・ “変化への対応”
 - ・ あらゆる活動がマネジメントの対象
 - ・ ポジティブシンキング
- 2) マネジメントと評価
 - ・ “対の関係”
 - ・ 効果をあげるために評価

3. ライブラリーマネジメント・ゼミナールの試み

- 1) 目標はマネジメントに関する知識習得とスキルの獲得
- 2) 取り上げたテーマとねらい
 - * 別紙資料
- 3) ゼミナールの進め方
- 4) 参加者のコメント

4. おわりに～図書館も図書館員も元気に！